

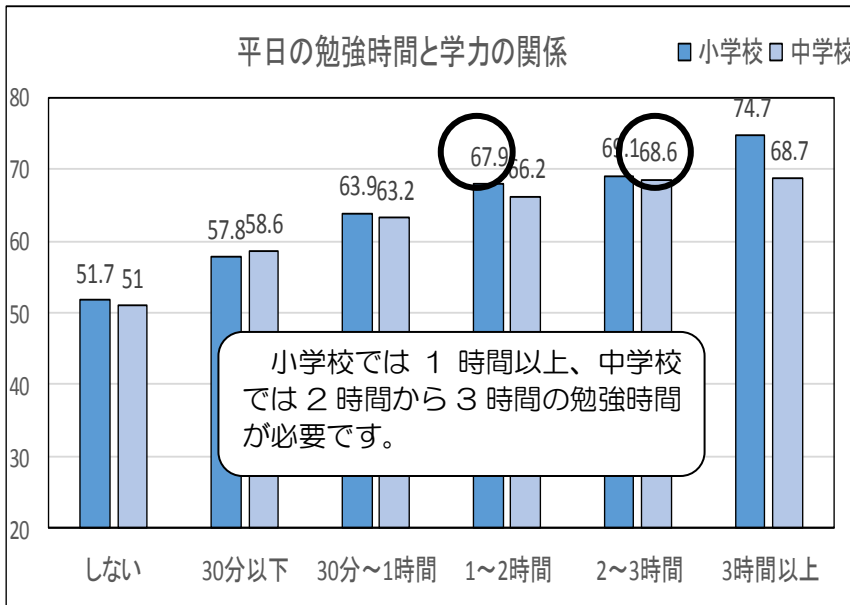


新しい年を迎えて、いよいよ3学期が始まりました。3学期は、進級や進学のための準備の学期でもあります。この学期をどのように過ごすかで、4月からの生活が大きく変わります。

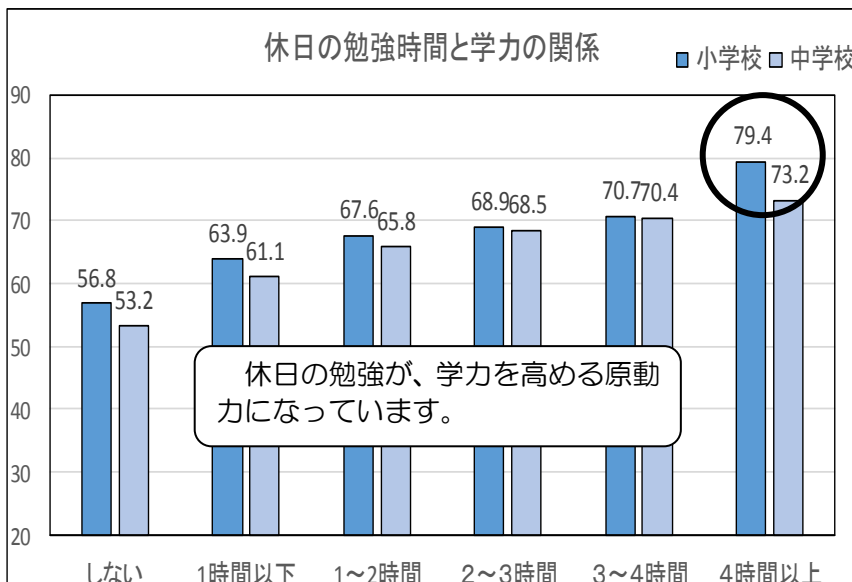
そこで今回は、門川の子供たちの家庭での勉強時間がやや不足していることをふまえて、勉強時間と学力の関係、そして一日の生活の中で勉強時間をどうして増やしていけばよいか、教育研究所おすすめの工夫を紹介します。ぜひ、毎日の生活の中に取り入れ、活用してください。

## 勉強時間のちがいで、こんなに学力の差がつきます！

(平成26年度全国学力・学習状況調査結果から、必要な勉強時間が分かりました)



小学6年生では、1時間以上勉強するところまで正答率が大きく伸びていることがわかります。この結果は、6年生は1時間以上勉強する必要があることを示しています。中学3年生では、2時間以上勉強するところまで正答率が大きく伸びていることがわかります。この結果は、3年生は2時間以上勉強する必要があることを示しています。また、1時間以上勉強する子どもは、1時間以下の子どもにくらべて、学力が約10%以上高くなっています。



休日に、ある程度時間をかけて勉強している子どもは、一層学力が高くなっています。3時間勉強する子どもと4時間勉強する子どもの学力の差が約3~8%あります。

休日に、工夫して時間をうみだして勉強することが、平日の勉強をさらに補い、学力を高める結果になっていると考えられます。

門川町の子どもは、休日の勉強時間が全国平均より少なくなっています。休日の勉強の工夫が必要です。

# 1日の生活の中で、勉強時間をつくり出す5つの工夫！



**工夫1** 今の勉強時間を、もう少しふやす  
目標を立てよう。

勉強時間を一度に2倍にすることはなかなか  
できませんが、10分のはずすことはできます。今  
の勉強時間より少し長くする目標を立てて、がん  
ばりましょう。

そうすると、やがて気持ちも体もその時間にな  
れてきます。集中力も長続きするようになり、学  
力アップにつながります。

**工夫2** がんばっている毎日の勉強時間を  
記録しよう！

カレンダーなどに、毎日の勉強時間を記録して  
おきましょう。そうすると、自分の勉強のしかた  
がわかるようになり、長く勉強できた時を思い出  
して、生活を見直すことができます。

また、例えば1か月の勉強時間の目標を50時  
間と立てて毎日記録し、目標達成をめざすとい  
うことも効果的です。

**工夫3** 勉強を中心とする生活をつくりあ  
げよう！

遊んでから勉強する、テレビをみてから勉強す  
るという生活では、結局勉強の時間がなくなって  
しまいます。まず勉強を先にすませ、その後ほか  
のことをするというように、勉強を中心とする生  
活に切りかえましょう。

そうすると、今日は勉強ができなかった、時間  
が少なかったということがなくなります。

**工夫4** 「勉強をしない日」という例外を  
つくらないようにしよう！

休みの日や旅行に行った日には勉強しない、と  
勉強をしない特別の日をつくと、何かあると今  
日は勉強しないという習慣をつくることになり  
ます。

少しきついです。特別の日をつくらぬとい  
う「がまんをする」ことも大切です。それが勉強  
をがんばりぬく力を育てます。

**工夫5** メディアコントロールの  
ルールをつくろう！

門川町の子どもがテレビを見たり、ゲ  
ームをしたりする時間は、宮崎県全体と  
比べると大変長くなっています。また、  
携帯電話やスマートフォンを使う時間も  
同様に長く、ルールづくりができていま  
せん。このような「メディア」の使用は、  
習慣化しやすく、漫然と使ってしまうな  
ど、勉強時間を減らす大きな原因にな  
っています。勉強するときは、近くに置か  
ない、さわらない、時間を決めて使うな  
どのルールづくりが大切です。

**教育研究所からのメッセージ！**

全国学力調査の結果、勉強時間で学力の差がでるとい  
うことが分かりました。また、中学校では、まったく勉  
強しない場合と2時間以上勉強する場合は、20%も  
学力差がありました。勉強時間のめやすは、およそ小学  
6年では1時間、中学3年では2時間ですが、この時間  
を上回る勉強時間が必要です。学校での授業とともに、  
家庭での勉強が学力に影響しています。門川の子どもは、  
勉強時間がやや少ないという結果が出ています。特に、  
休日の勉強が足りません。もう一度、家庭での勉強時間  
は今のままでよいのかを考えましょう。そして、家庭ぐ  
るみでもう少し勉強時間をふやす工夫に取り組んでみま  
しょう。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、**教育相談室に  
気軽に電話をしてください。**

相談電話（門川町教育相談室）

63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~